



TITLE:

# 京大東アジアセンターニューズレ ター 第455号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

---

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセン  
ターニューズレター 第455号. 京大東アジアセンターニューズレター  
2013, 455

ISSUE DATE:

2013-02-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169763>

RIGHT:

## 目次

- 太陽光発電シンポジウムのお知らせ
- アジア中古車流通研究会のお知らせ
- カンボジア短信 : 2013年 1月上旬
- ミャンマー短信 : 2013年 1月下旬
- 【中国経済最新統計】

主催

京都大学東アジア経済研究センター

共催

東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点

協賛

経済産業省資源エネルギー庁

太陽光発電協会

後援

京都大学東アジア経済研究センター協力会

太陽光発電シンポジウム

## 太陽光発電産業の将来を探る

■京都会場 2013 年 3 月 23 日(土) 13 時 30 分  
京都大学法経第五教室

〔 なお、東京会場 2013 年 7 月 20 日(土) 13 時 30 分  
京都大学東京オフィス(品川インターシティA棟 27 階)にて開催予定 〕

総合司会 京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹

13:30-13:40

挨拶 京都大学大学院経済学研究科 東アジア経済研究センター長 教授 塩地 洋

13:40-14:20

基調講演：京都大学大学院経済学研究科 研究科長 教授 植田和弘

14:20-14:50 (30 分)

特別講演 東京大学 社会科学研究所 教授 丸川知雄

### 講演

15:05-15:20

京セラ株式会社

15:20-15:35

オムロン株式会社

15:35-15:50

日新電機株式会社

### パネルディスカッション

15:50-16:30

植田教授と各社講演者とのディスカッション

16:30-16:35

閉会挨拶

17:00-18:30

懇親会

会場：みずほホール（法経東館地下1階）

司会 京都大学経済学研究科 特任教授/東アジア経済研究センター協力会 理事 宇野輝

開会挨拶 京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹

閉会挨拶 京都大学大学院経済学研究科 東アジア経済研究センター 副センター長 准教授 矢野 剛

●参加希望者は諸富（morotomi@econ.kyoto-u.ac.jp）までご連絡ください。

なお懇親会は参加者2000円を頂きます（但しセンター協力会会員は無料です）。

\*\*\*\*\*

## 第4回 アジア中古車流通研究会

主催：京都大学東アジア経済研究センター

後援：京都大学東アジア経済研究センター協力会

2013年2月23日(土) 13時

於：名城大学名駅サテライト（名古屋駅前桜通ビル13階）

<http://www.meijo-u.ac.jp/campus/shisetsu/sate.html>

司会 東京都市大学 教授 井上隆一郎  
大阪商業大学 教授 孫飛舟

### 1. 研究会の今後の運営について

13:00-13:45

□第1回～第3回研究会の経緯、今回のテーマの説明

□新参加者の自己紹介と研究会に対する要望

### 2. 報告

13:45-15:30

□川崎大輔（ガリバー・インターナショナル）

タイにおける中古車流通

□塩地洋（京都大学）

新興国における中古車流通を健全化させるための諸方策

### 3. ディスカッション

15:45-17:00

□タイ進出企業

□質疑応答

終了後 懇親会（旬鮮酒場天狗 堀内ビル地下1階 052-586-3660）

なおこの研究会は京都大学東アジア経済研究センター協力会の法人会員・個人会員のみが参加できる**クローズドな研究会**です。非会員で参加希望の方は塩地 shioji@econ.kyoto-u.ac.jp まで協力会への入会手続きをお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

カンボジア短信：2013年 1月上旬

4. FEB. 13

中小企業家同友会アジア情報センター代表  
東アジアセンター外部研究員（協力会理事）

小島正憲

## 1. 最近の外資進出関連情報

- ・1/16、鴻池運輸(本社:大阪市)は、プノンペンに駐在員事務所を設立したと発表。同社はメコン地域では、ミャンマーにも昨年駐在員事務所を開設したほか、タイ、ラオス、バングラデシュにも拠点をもっている。今後は中国などから同地域への工場設備の移転需要などを狙っていくという。
- ・1/18、日本精密は、3月をメドにカンボジアに時計部品の製造販売子会社「ニッセイ・カンボジア」を設立すると発表。人件費の上昇や対日感情の悪化といった問題が顕在化する中国に拠点を置く取引先の時計メーカーのリスクを軽減する狙い。
- ・1/23、デンソーは、カンボジアに進出し、7月から2輪車部品を生産すると発表。投資額は約3500万円、プノンペン経済特別区で工場を借り、2輪車用発電機のセンサー部品を生産、製品はタイにあるデンソーの生産拠点に輸出。

## 2. タイとの国境問題

- ・1/21、「タイ愛国ネットワーク」を名乗る市民団体が、カンボジアとの国境問題に関し、バンコクの王宮前広場と最高裁前などで集会を行った。参加者は数百人で、同団体は、ヒンズー教遺蹟プレアビヒア周辺の国境未確定地域について、タイ領であると主張し、今年10月にも国際司法裁判所が示す判決を拒否するよう主張している。
- ・タイ前首相のアピシット氏とカンボジアのフン・セン首相が舌戦。領土問題でタイの市民団体が抗議活動を行ったことについて、カンボジアのフン・セン首相が、「政治的な駆け引きがあり、裏でアピシット前首相が工作をしている」と発言。これについてアピシット前首相が、フン・セン首相とタクシン元首相とのガス田開発疑惑まで持ちだして応酬。舌戦に発展している。

## 3. シェムリアップの新空港建設は低調な出足

韓国企業2社によるおよそ 10 億円の投資を受けて建設されているシェムリアップ国際空港(NSRIA)は、軌道に乗った出だしではないようだ。シェムリアップ国際空港の株は、Camco Airport Co 社と Lees A&A 社の2つの韓国企業に、それぞれ50%ずつ所有されている。その韓国企業に、カンボジア政府は、国際レベルに見合う空港の建設を求めており、予定では 1 年に 1000 万人から 1500 万人の受け入れを見込んでいる。シェムリアップ国際空港運営委員会の議長を務める Tek Reth Samrach 氏は、韓国企業から建設計画に関する最新の報告書の提出をうけたと話し「会社の代表が先週私たちとミーティングを行ない、建設があまりはかどっていないと言う事と、いくつか問題に直面していると言った事を話しました。しかし、これらの問題はすでに解消されたようで、現在は新しい財政計画を完成させているようです。もちろん、2010 年建設の契約書にサインして以来、彼らの仕事がちょっと遅かったということも、私も感じています。現在、2013 年を迎えたというのに、工事はなにも行われてはいません。しかし彼らの資本投資に注目すると、これは莫大な額なので、もう少し時間が必要なのだという事はわかりました」と述べた。

新たな空港の建設地は 2 つの地域にまたがっており、地方都市から 60 キロほど離れたところにある。Tek Rethsamrach 氏は、これらの土地の購入のためにすでに 1 億ドルほどを会社は投資していると話している。ポスト誌は、会社は 2012 年 5 月に空港の着工式を行う予定であったと報じていたが、その式はいまだ行われていない。また 3 月にポスト誌は、シェムリアップ国際空港の幹部が、Busan 貯蓄銀行における不正融資の罪で、懲役 7 年を言い渡されたことを報じていた。

## 4. 1/15、2013 年のカンボジアの GDP 成長率は 7%見込み

政府職員は、不安定な世界経済であるにも関わらずカンボジアの2013年の GDP 成長率が 7%ほどであると予想している。一方、世界銀行とアジア開発銀行、国際金融機関によって予想されている数値は、平均して 6.7%となっており、政府の出した数値よりも若干低いものとなっている。商務省の Ou Proum Virak 氏は、「世界経済は現在、回復の兆しを見せている。カンボジアの経済は去年好調に動いており、この傾向は今年も続くであろう。政府の具体的な政策により、我々は世界経済危機から逃れることができました。そのため去年の経済成長率は7%を維持することができ、今年も同じ数値が期待できると思います。衣料品の輸出や観光、農業や建設などはまだまだ成長する傾向にあります。ヨーロッパにおける債務危機や、アメリカのなかなか進まない経済回復などといった要因により2012年～2013年における世界経済の見通しが、未だ高いリスクを含んでいるのは確かですが、カンボジアの経済





状況はこの7%を実現する為の力がある事を証明するでしょう」と1/15の貿易セミナーにおいて、話した。

## 5. 1/8、カンボジア発で初の電気自動車誕生

カンボジア発で初の電気自動車である the Angkor EV 2013 は、Kandal 州に拠点を置く Heng Development 社によって、1/7、正式に発表された。

Heng Development 社の最高責任者である Seang Chan Heng 氏は、「この車は現地の発明家 Nhean Phalloek 氏によって開発された偉大な車である。バッテリー充電式の Angkor EV 2013 は、一度の充電で 300 キロメートルを走行することができ、また、最高時速は 60 キロである」と話した。

しかし Heng 氏は、「Angkor EV 2013 はすでに正式に発表されているが、1 年にどれほどの台数を生産できるか、また、新たな投資をどれほど必要とするかなどはまだ分かっていない。2013 年、市場にある程度の台数は出回るでしょう。しかし正確な数はまだ分らないです。ただ私の会社も Phalloek 氏も、この製品を売りに出すことは明確にしています」と話している。また Angkor EV 2013 の値段は未定だが、Heng 氏は 10,000 ドル以下だろうとしている。「Angkor EV 2013 に使われる部品のいくつかはカンボジアで生産されており、他は中国や日本、ドイツなどから輸入をしている。また、Koh Kong 州に自動車部品工場が出来たことは、輸入に頼らず、なるべくカンボジア国内でこの車を作っていくための、良い兆候である。カンボジアで生産されるスペアパーツは安く手に入るし、短時間で運ぶことができる」と Phalloek 氏は話した。「Angkor 2013 の発明はクメール人の誇りです。この国の市民も文化も、歴史的に素晴らしいものです」と国会副会長の Khoun Sodary 氏は、誇らしげに話す。

## 6. ストライキ関連情報

### ① Svay Rieng Cambodia Garment factory 社にて抗議活動発生

まもなく閉鎖予定にある Svay Rieng Cambodia Garment 工場周辺では、1,000 人以上の労働者が 2012 年 12 月 31 日、抗議活動を行なった。この工場は 1 月 1 日に工場閉鎖が発表され、新しい場所への移転が予定されている。労働者代表の Pang Tra 氏は「会社は我々に対して、12 月分の給与と手当の支払いを現在行なっています。また工場閉鎖を知らされた際に少額ですがお金を受け取りました。しかし労働者たちはさらに退職金と保証金の支払いを要求しています。私たちが要求しているのはそれぞれに 100 ドルほどですが、会社はたった 40 ドルしか同意してくれません。要求が満たされるまで労働者たちは抗議を続けるつもりでいます」と付け加えた。

### ②カンボジアの労働組合は失神について、悪臭との関連性を言及

2012 年仕事中に失神を起こした労働者数の統計に関して、労働者組合代表と政府職員がまったく違った数値を把握していることが明らかになった。自由労働組合は昨日、工場で失神した労働者の数は **2,100 人以上**に昇ると発表したが、政府はこれに対しここ数年間でこの問題は減少しつつあるとして、失神したのは 1,686 人ほどだった、としている。

「悪影響を及ぼす煙や整備されていない職場環境、残業や低賃金などといった問題が労働者に不健康な状態をもたらし、2011 年は 1,800 人以下だったのに対し、2012 年は 29 もの工場において計 2,107 人が失神した」というのが自由労働組合代表の Chea Mony 氏の主張である。例えば、

Kampong Speu 州にある The Anful 縫製工場は、2012 年に出した労働者失神件数が最多となっている。ここではおよそ 300 人の労働者が、殺虫剤を撒いた事により気を失った。「このような事件があるのだから政府はもっとこの問題に関して注意を払うべきである」と Mony 氏は話す。そして「昨年 5 月、失神者を出さないようにとフン・セン首相が政府に命令を下した後の短期間は、政府の注意もこの問題に注がれていました。しかしその期間内に行われていた政策は実は、長期間ではほとんどなんの意味ももちません。政府はそういったことよりも、安全面での利点や然るべき額の給与、健康的な環境などを労働者に提供できるように関心して努力すべきである」と述べている。

逆に Labour Health Department 局長 Pok Vanthats 氏や労務省役人、そして職業訓練協議会などは失神者の数について、ここ数年間で減少しており、去年は 1,686 人だと話している。



### ③縫製業の抗議者達は政府に解決策を打診

200 人ほどの縫製業労働者が、Kandal 州にある工場から社会問題相まで移動しながらデモを行なっている。すでに 2 週間ほど行われており、労働者達は解決策を要求している。労働者代表は、Ang Snuol にある Master and Frank factory の労働者たちとの話し合いの場を持てるようにと政府職員と会合を行ない、「社会問題相や労務省の職員たちと交渉を行いました。争議を終わらせるために労働者たちと会ってくれと、彼らは会社役員に頼んでくれると言いまし

た」と代表の Saom Sokhim 氏は話した。労働者たちは12月19日からストライキを行っており、解雇された10人の復職を要求しているという。ストライキを止めるようにとの命令を裁判所がすでに出しているにもかかわらず、労働者達はストライキを継続中である。ストライキ・デモ活動鎮静化のための委員会の事務局次長である Vong Sovann 氏は、「社会問題相が解決策を話し合う会議を取り仕切るはずだったが、会社側がもう一日待ってくれ、と頼んだことにより会議は今日に延期されている」と話している。

#### ④Master&Frank factory 社の抗議活動～その後～

カンボジアアパレル労働者民主組合連盟の代表者である Ra Sambath さんは、「12月26日ストライキ活動の最中に、工場の警備員や地元警察官から気絶するまで殴られた」と話している。彼は自分が暴力の被害者であるとして、州裁判所に不平を訴えた。しかし彼自身ストライキ行為中に他人に暴力をふるい、また、会社の備品を損害させたなどの申し立てを受け、昨日 Kandal 州警察本庁に呼び出しを受けた。「2人の同僚と共に明日、警察本庁で取り調べを受ける予定です。どうして会社が私たちを訴えようとしているのか、理解できません。つい先日、州警察から召還状を受け取りました。会社の備品を壊し職員に暴力をふるったとして会社側は私たちを非難していることを知り、とても驚きました。会社が私たちを非難しているのは、明らかな間違いです。彼らはお金を持っているので、なんでも出来てしまうのです」と彼は話す。300人以上の労働者がこの2週間工場で抗議活動に参加しており、解雇された10人の復職を要求している。労働者たちは、この10人が正当な理由なく解雇されたと主張している。

Master & Frank の経営者である Seang Rithy 氏は、会社が3人の労働者に対して取り調べを求めていることを認めた。警察署は、なぜ彼らがこの訴えに関わっているのかに関してまだコメントを出していない。

#### ⑤1/14、Kingsland Garment(Cambodia)工場にてストライキ発生

Walmart や H&M などのアンダーウェアを製造している工場の経営者たちが、いまだ100,000ドルほどの未払い賃金があるにもかかわらず工場を閉鎖しようとしているとして、労働者たちから非難の対象となっている。

プノンペンの Meanchey 地区にある Kingsland 縫製工場では、この10日間、労働者達によって抗議活動が行われており、労働者たちは夜も工場の周りにキャンプをはって泊まり込んでいる。これは、工場の設備を回収しにきた経営者たちを捕まえるためである。この工場は12月29日から稼働しておらず、もし閉鎖したのであれば合わせて800,000ドルを労働者たちに支払う義務がある、と労働者側の代表は話している。

労働者の Phoung Phearum さんは、国道2号線で抗議活動を行なっている労働者およそ50人のうちの1人だが、彼によると工場周辺で10日間泊り込みを行なっている人は、30人ほどいるという。「僕たちは毎日ここにいます」と彼は話す。加えて労働者代表の Oun Bouy さんは、「2008年以後 Kingsland で唯一認められている労働組合は、マネージャーの妻が運営しているもので、また、工場にはおよそ700人もの労働者が働いているがこの組合に関わるのはたった20人ほどである。政府に助けてくれるよう、アピールしたいのです。僕たちには家賃を払うお金もないし、食べ物も買えず家族を支えきれません」と話している。

本件に関し、コミュニティ法教育センターで行われている労働プログラムの代表を勤める Moeun Tola 氏は、「100人以上の労働者が工場の閉鎖に関してすでに不平を述べに来ている」と言う。また労働団体 Warehouse Workers United の国際問題コーディネーター Nick Rudikoff 氏は、「Walmart 社も Kingsland で起こっている問題に関して責任を共有するべきである。彼らの店に洋服を提供している工場で、ちゃんと労働者が適正に扱われていることを明確にしなければなりません」と話した。

Walmart 社と H&M 社にはメールでの質問に対し返答がきた。しかし一方で Kingsland の経営側と香港に住むそのオーナーからはいまだなんの返答もない。

#### ⑥1/15、Gladpeer garment 社にて抗議活動発生

2,000人以上の労働者が、プノンペンにある Gladpeer 社工場において、1/15、デモ活動を行なった。彼らは、賃金のアップとその他いくつかの要求を掲げている。カンボジアアパレル労働者民主組合連盟の代表 Ngeat Sokum 氏の話によれば、「Por Sen Chey 地区に位置するこの工場に対して労働者たちは賃金アップ(61ドルから93ドル)や長期労働契約の使用、解雇された組合メンバーの復職などをいく度となく求めていたが、工場側はそれを無視し続けていたようだ。もし工場側が労働者側の要求を一切満たそうとしない場合、私たちはストライキを行うつもりである、ということを前もって工場側には知らせてあります。ついに、計画していたストライキが始まりました。20人以上の警察官が現れたが、暴力などはなかったようです」と話した。

Gladpeer garment 社は H&M や PUMA、Hollister などに製品を提供している工場だが、総務部長の Va Chinda 氏は昨日、「労働者の要求を受け入れることが出来ない」と話し、「この問題の解決に取り組んでいます、まだ答えは





見つかっておりません」と続けた。労働者と組合、そして会社代表と現地職員とを含めた話し合いが、昨日午後に行われたが、なんの解決策を見出すことも出来なかった。そして Sokum 氏は、「今日もストライキを行うつもりだ」と話し、「今週中に、工場から国道 4 号線に沿ってデモ行進を行おうと考えています。我々は H&M 社に対してアピールを行い、労働者にとってより良い労働条件を確保してくれるように、会社を後押ししてもらいたいのです」と述べた。

H&M 社のメディア担当 Anna Eriksson 氏は、「小売会社は工場を保有しているわけではないので、労働者に賃金を払うことも賃上げを叶えることもできない」とポスト誌に話している。しかし、カンボジア政府がこの問題にもっと積極的に取り組むようにと、国際労働機関の Better Factories Cambodia プログラムとともに働きかけているという。

以上

\*\*\*\*\*

## ミャンマー短信：2013年 1月下旬

07. FEB. 13

中小企業家同友会アジア情報センター代表  
東アジアセンター外部研究員(協力会理事)

小島正憲

### 1. 最近の外資進出など関連情報

- ・監査法人トーマツは3月までに、ミャンマーに常駐の日本人を置き、日系企業の同国への進出支援や現地で事業を行う企業への会計・税務サポートを強化する予定。
- ・1/21、化学品の専門商社である小西安(本社:東京都中央区)は、ミャンマーに駐在員事務所を開設する検討を進めていることを明らかにした。
- ・1/21、みずほコーポレート銀行は、ヤンゴンにある駐在員事務所を支店出張所に格上げしたと発表。
- ・1/21、東京海上日動火災保険は、同社のミャンマー事務所に1/1付けで、常駐の日本人スタッフを配置したことを明らかにした。同社はこれまでタイの拠点から出張ベースで対応していた。
- ・1/21、渥美坂井法律事務所(本部:東京都千代田区)は、2015年までをメドにミャンマーに拠点を開設する準備を進めていることを明らかにした。
- ・1/21、戦闘糧食や衣料品の販売を手がける武蔵富装(本社:東京都千代田区)は、ヤンゴンに駐在員事務所を開設することを明らかにした。同社は4年以上前からミャンマーで縫製品の生産委託を開始しており、現在、紳士衣料で月10万着を日本に輸出、社員の常駐は注文の増加に答えた対応。
- ・日立物流はこのほど、ヤンゴンに合弁会社「ニッシン・ミャンマー」(資本金1億円)を設立、事業を開始したと発表。中国での人件費高騰などを受け、ミャンマーに生産拠点を移し始めているアパレル業界などの物流需要を見込む。売り上げ目標は、2013年度に4億円程度、15年度に7億円。ヤンゴン近郊のシュエピタ工業団地に、約3300平米の物流倉庫を確保。
- ・1/22、経済産業省、ティラワ工業団地を開発する共同事業体を、日本の年度内の設立を目指す方針を発表。出資比率はミャンマー側51%、日本側49%とする方向。
- ・1/22、経済産業省、ダウエイ経済特区の事業化調査(FS)を年明けから始めたことを発表。日本の年度末までに終える予定。経産省は、ダウエイがタイのバンコクからインド洋に通じる同地の戦略的重要性を持っていると評価しており、長期的な視野での開発を支援する狙い。なお、経産省幹部はティラワ地区の開発とはバッティングしないと述べている。
- ・1/22、セブン銀行は、日本からミャンマーへの海外送金サービスの取り扱いを、2/01から開始すると発表。送金金額は1回当たり50万円以下、手数料は990円から。
- ・1/22、三菱ふそうトラック・バスのアルバート・キルヒマン社長は記者会見で、「2013年中にミャンマーでトラックの販売を始める」と述べた。
- ・1/23、財務省は1月からミャンマーに税関職員1名を、2年間の予定で派遣したと発表。国際基準から逸脱している同国の税務体制を指導するとともに、組織運営の改善を求める。なお、同国の税関職員の日本での研修も本格化させるという。
- ・岐阜県の大垣に本社のある大垣共立銀行は、1/22~25の日程でミャンマーへ経済ミッションを派遣した。同行の顧客企業を中心にして、12社が参加。
- ・1/26、KDDI が住友商事と組んで携帯電話事業でミャンマーへの進出を検討している。今後、同国が実施する携帯電話事業への入札に参加する方向。KDDI は昨年12月、富士通、大和総研と組んでミャンマー中央銀行から基幹 IT(情報技術)網の整備を受注。今年3月にはヤンゴンで日系企業向けにレンタルオフィスを開設する計画でミャンマー事業に力を入れている。
- ・1/27、世界銀行、ミャンマー支援を再開すると発表。
- ・1/28、アジア開発銀行、ミャンマーへの支援を再開したと発表。

- ・1/28、日本政府、タイで暮らすミャンマー難民の職業訓練支援のため、約850万円を無償援助。タイのミャンマー国境沿いの7つの難民キャンプで、農業機械のメンテナンスとコンピューター技術を教える。
- ・1/29、JFE 商事、ヤンゴンに支店を開設。ミャンマー国内のインフラ整備にともなう鉄鋼製品に関する需要を見込む。
- ・1/29、東陽倉庫、今年6月、ヤンゴンに支店を開設すると発表。ヤンゴン支店では、①輸出入業務、②通関業務、③保管・配送業務、④国際一貫配送業務を手がける計画。
- ・1/31、日本電気、ヤンゴンに支店を開設し、2月からマーケティング・セールスサポートを行うと発表。
- ・1/14、豊田通商が出資するシンガポールの建設機械レンタル・販売会社シンヘン・ヘビー・マシナリーは、ミャンマーに建機レンタル合弁会社を設立したと発表。港湾、発電所、石油、ガスなどの分野で見込まれるミャンマーでの建機需要を取り込む予定。
- ・1/14、タイの油圧機器メーカーTMC インダストリアルは、ミャンマーに合弁で販売会社を設立する計画を発表。
- ・1/14、台湾のスマートフォン大手の宏達国際電子は、ミャンマーのIT・携帯電話販売最大手のKMDと販売契約を結んだと発表。
- ・1/15、マレーシアの携帯電話大手のアシアタは、ミャンマーの通信免許入札に参加を表明した。ミャンマー政府は、1/25までに入札への参加表明を行うように求めており、2月中の入札、6月末の免許発行を予定している。入札にはアシアタの他、海外から多数の企業が参加する見通しで、激しい競争が見込まれている。
- ・1/16、タイの安全防具販売や排水処理事業を展開するポンタンヤは、ミャンマーでの事業拡大を目指すと発表。ポンタンヤはすでにヤンゴンに現地事務所を構えており、排水処理事業の新規受注や安全防具の拡販を狙っている。
- ・1/18、ミャンマー政府のエネルギー省は、国内各地の陸上石油鉱区18か所について、探査ライセンスの入札を実施すると発表。外資にも応札を認めるが、提携先として国内石油企業を少なくとも1社選択することを義務付ける。
- ・1/21、タイ工業団地公社は、対外投資の子会社「IEAT インターナショナル」を設立し、中国の雲南省昆明の物流事業向け工業団地や、ミャンマー南部ダウエイに造成される工業団地への投資を目指すと発表。
- ・1/21、タイ政府は北部ターク県メソト地区に、経済特区を整備するプロジェクトを承認した。メソトはベトナム中部からミャンマーへ抜ける東西経済回廊の中継地に位置しており、このプロジェクトにはミャンマーとの第2友好橋を建設する計画も含まれている。特区はミャンマーに接する立地を生かし、繊維や衣料品、野菜や果物の缶詰、木材加工、家具関連の労働集約型産業の誘致などを検討していく予定。
- ・1/22、タイで美容クリニックチェーンを展開するウティサック・クリニック・インターグループは、ミャンマーやラオス、ベトナム・カンボジアなどで美容クリニックの店舗を展開していく予定と発表。
- ・1/22、マレーシアの建設会社ムダジャヤ・グループは、ミャンマーで計画している発電事業で石炭火力発電所の第1期建設に2014年下期に着手すると発表。第1期ではマンダレー管区で発電容量が最大で50万KWの発電所を建設する計画だという。
- ・中国の雲南省とミャンマー西部を結ぶ全長約1,100kmの原油パイプラインが5月末に完成する見通しとなった。原油パイプラインは年間2,200万トン、天然ガスのパイプラインは年間120億立方 m を輸送することができるという。中国政府はミャンマー北西部でのミャンマー政府軍と少数民族軍との武力衝突が、このパイプラインの完成に悪影響を与えることを恐れ、対応をいそいでいる。
- ・1/23、国営タイ石油会社のチョートチャイ副社長は、ミャンマーのダウエイ地区に、ガスパイプラインや液化天然ガスの貯蔵ターミナルを建設する計画を発表。現地でのインフラ整備が終わった後、発電所に燃料を供給するためミャンマー沖の天然ガス田ゾーティカ、イェタグンからダウエイまでガスパイプラインを設置する計画。
- ・即席麺「ママー」を製造するタイ・プレジデント・フーズは、ミャンマー第2工場をマンダレーに建設することを計画している。投資額は約2億バーツ。第1工場はヤンゴンにあり、1分間で450袋を生産しているという。第2工場は1分間当たり600袋という。
- ・1/28、レジ袋やゴミ袋を生産しているタイの DPAC インターナショナル・コーポレーションは、ミャンマーに5億バーツを投下して新工場を建設すると発表。
- ・1/29、スー・チー氏、韓国の朴シン大統領と会談。アジアを代表する女性指導者同士が、地域の未来への思いを語り合った。
- ・1/30、紳士服「マンチェスター」ブランドを製造・販売しているタイの「MCT インターナショナル」は、2013年中に、ミャンマーとラオスで、地元企業と提携し、両国に販売ショップを開設すると発表。同社の幹部は、「ミャンマーでは最近、中国や米国の投資家が事業展開を計画し、紳士服の需要が増加する」と語っている。
- ・中国の銀行カードで3か月間以内に買い物ができるようになる。中国のChinaUnionPay（銀連カード）を使って、ミャンマー国内の銀行支払いシステムと提携している所で、3か月間以内に使えるようになる。

## 2. カチン州民族紛争関連情報



- ・1/14、少数民族武装勢力カチン独立軍(KIA)のスポークスマンは、「カチン州ライザで、政府軍による砲撃があり、市民3人が死亡、6人が負傷した」と発表。ミャンマー政府はこれを否定。
- ・1/18、ミャンマー大統領府は、カチン州で続く少数民族武装勢力カチン独立軍(KIA)との戦闘について、19日朝以降、攻撃を停止すると発表。
- ・1/19、中国政府特使としてミャンマーを訪れた傅瑩外務次官は、テイン・セイン大統領とヤンゴンで会談し、両国国境地域の平和と安定を維持していくことで一致した。中国側は、カチン州での政府軍とKIAの武力衝突で、砲弾が中国側に着弾したり、近く予定されている雲南省への石油パイプラインの開通に影響が及ぶのを警戒して、この地域の平和と安定を強く求めた。
- ・1/21から、カチン州ミッチーナーのナンパウン空港に、第二次世界大戦末期に埋められた英軍機18機を掘り出す。18機とも、地下 30 フィートにあると予測される。この英軍機は1945年に、ヤンゴン空港近くに36機、ミッチーナー近辺に18機、メイティラー周辺には6機ほどあると予測されている。ヤンゴン空港の掘り出し作業は最近停止中。  
なお、英軍機発掘は民間人が居住しているところや、空港の道路などに当たる所は発掘しない方針。英軍機発掘予定数は60機、その内1機はミャンマー政府にプレゼント、残り59機についてミャンマー政府が50%、英国側会社が30%、ミャンマー側の会社が20%の利益割り振り。発掘期間 2 年間。



### 3. その他、現地メディア情報

#### ①観光業に外国投資を受け入れないように、国内観光業界意思表示

ミャンマーの観光業界民間経営者たちが、国内の観光業に外国会社を入れないようにと訴え、署名活動を開始した。合弁でも独資でも観光業界では、外国会社を受け入れないという。理由は外国会社が大金を使って観光業に入ってくると、国内の会社の経営が危くなる恐れがあるからという。

#### ②外国投資法決定後に投資してくるのは、ほとんどCMPビジネス

外国投資法決定後に、投資してくるのは縫製業界のようなCMPビジネスがほとんどである。投資委員会が許可を出しているビジネスが66社、その内42社がCMPビジネス、9社が石油関係ビジネスである。外国投資法(FDI)が決定したことや、自然資源等により外国投資が一気に入って来ると予想していたが、国内紛争やインフラ関係、あまり発展していない銀行ビジネスなどにより、予想ほど外国投資が入って来ていない。

#### ③半年以内に世界各国へ送金可に

国内の銀行と国際送金ビジネス(Western Union)が提携して、国内から海外へ送金できるサービス業を半年以内にスタートしていく。Western Union とアメリカ政府の許可なども待たないといけなため、すぐにスタートはできないと言われているが、Western Union の責任者の発言によると、すぐにスタートできない理由はミャンマー政府が送金を認めないためだという。

#### ④Western Union との提携で、海外からミャンマーに1か月間以内に、1億2千万チャット以上が入金。

これまで送金してきた人は145名に達している。サービス料金割合は Western Union 75% 国内銀行 25%の利益になる。ただし海外からは現地通貨で送金し、ミャンマー国内で引き出す時は、当日レートのミャンマーチャットでしか引き出せない。

#### ⑤民間の保険ビジネス、6月末までにオープン出来ない場合、運営許可を取り消す

保険ビジネス運営許可は、6/末までにオープン出来ない場合は、自然に運営免許が失効する。会社によっては非公開で保険ビジネス開業に向けて準備をしている。

#### ⑥SIM カード販売状況

横領事件で通信省トップが辞任したため、5000チャットで発売する携帯SIMカードが、確実に販売される予想。なお、2012年年末から10万チャットのカードが販売されると発表されていたが、その後販売が一時停止されており、現在は市場でSIMカードが全然買えない状態。通信省で再調整をしているが1月末まで販売が再開されないまま。大統領官邸から最終結論が出たら発表される。

#### ⑦2012年のヤンゴン国際空港、外国人客入国、前年対比154%に達す

2011年年より外国人の入国が154%増えたと、ホテル&観光省の責任者が発表。2012年1月～12月までの観光客入国数は、55万4531名だった。2011年は35万9359名だった。ヤンゴン空港と陸の国境からの外国人入国数を合計すると100万人以上になった。

#### ⑧国内線を大型機増便のためMAI許可待ち

ミャンマー国際航空MAIが、国内線も増やしていく予定。2012年12月に政府に申請して許可待ち状態。これまで国内線の殆どはプロペラ機だったが、MAIが国内線増やせばAirbus やATR等で飛行する予定。今まではローカル便は乗客が少なかったため、このような大きな飛行機では営業が成り立たなかったが、今は乗客も増えているので大丈夫だという。

#### ⑨アセアンスポーツ大会中の大会参加者のホテル代、特別レート:50USD/1泊に決定

今年12月に開かれるアセアンスポーツ大会中は、大会参加者のホテル代を50USD/1泊にするとホテル&観光省の責任者が発言した。これはアセアン諸国内の基準レートとして決める。ただし大会を見に来る観客用のホテル代はこの特別料金対象外となり、現在の相場料金通り支払うことになる。

#### ⑩アセアンスポーツ大会のため、中国が3400万US\$以上援助

ミャンマーで12月に開かれる第27回 SeaGames スポーツ大会のため、中国が3400万US\$以上援助すると発表。2国間の同意で、2012年12月に中国側から26名のスポーツインストラクターが、ミャンマーに来て指導した。ミャンマー側の176名も中国へ共同練習のため、2～3か月以内に行く予定。なお、ミャンマーでは40年ぶりに開かれる第27回アセアンスポーツ大会の開閉式等はネピドーの会場で行われる。大会期間は12月11日～22日。

#### ⑪ミャンマー特別経済区法の内容を80%訂正中、工業区法も今後決定していく

2011年1月27日に決定した特別経済区法を訂正したので国会に提出していくと、関係省のトップは発言。訂正内容は国際システムに合わせたものであり、国内外のビジネスが入って参入できるようにしてあるという。この他ミャンマー各地にある工業区なども統一して管理するため、工業区法(Industrial Zone Law)も作って行く。これにより他国の工業区同様の水準の工業区とし、土地価格も抑えられるようにしていくという。

#### ⑫発電・販売プロジェクトを、投資委員会がタイの会社に許可

発電所を建て、発電して売るプロジェクトをタイの Toyo-Thai Corporation Public に、投資委員会が許可を出した。具体的にどのくらいの単価で売れるかは非公開。今回許可した内容は、天然ガスと火力発電所。ヤンゴン管区のアロン市のアロン変電所の隣に作られる予定で、13年1月2日に許可。ミャンマーには現在、水力発電所19か所、火力発電所1か所、天然ガス用発電所10か所の合計30か所があり、机上のトータル計算では3949MW 発電できることになっているが、実際には1600MW しか供給できていないので、需要に対して大幅に不足している。今回許可した発電プロジェクトが、どのくらいの単価で供給してくれるかを早く公開すべきだという声も出ている。

#### ⑬日本の各社、日本語の人材不足に直面か

Japan SAT Consulting の Ms.Takashima Mina によると、日本のヤマハ、本田、鈴木、日立、NECなどがミャンマーでの投資に踏み切っているが、現在、ミャンマーで投資している日本の会社は、日本語の人材不足に直面している。したがって、日本語ができる人材は引く手あまたである。2012年のリストによると、日本からの投資ビジネスが約90社あり、2010年比2倍以上である。2013年に入っても、続々と日本の会社が投資調査のためミャンマー入りしている。しかし、実際の土地価格や電気事情などにより、足を踏み出しかねている企業も多い。

#### ⑭SAMSUNGがミャンマーでの投資を検討

現在、準備段階だが韓国のSAMSUNGも投資を考えているという。ヤンゴン管区モービー市近辺で土地を探している。投資委員会への具体的な申請は1月18日段階までまだない。現在、韓国のミャンマーでの投資は29億5925万5千US\$であり、投資金額では4番目に多い国である。

#### ⑮日系企業進出動向

特別経済区とミャンマーの基礎的な建設プロジェクトに投資するため、日本の会社が次々と入って来ている。1月10～1月16の間、日本の Oshimaya Company, Marubeni Corporation, ASMO Co., Ltd. JFE Engineering Corporation と METACC Manufacturing Ltd. などの会社が視察に来ている。その内、丸紅はティラワで、発電所プロジェクトのために来、ASMO 社は車部品工場の為に視察に来た。他の3社は縫製を含む他の生産業の視察に来た。現在の日本の投資は2億6千万 US\$ しかなく、投資金額順からすると11番目であるが、2015年までには投資金額が増えて、第1～第5番目の間になりそうだ。

#### ⑯両替レート

1/14 852MMK/米ドル 1109MMK/ユーロ

1/15 852MMK/米ドル 1109MMK/ユーロ

1/16 853MMK/米ドル 1112MMK/ユーロ

1/17 853MMK/米ドル 1112MMK/ユーロ

以上

\*\*\*\*\*

### 【中国経済最新統計】

|        | ①<br>実 質<br>GDP<br>増加率<br>(%) | ②<br>工 業 付<br>加 価 値<br>増 加 率<br>(%) | ③<br>消費財<br>小売総<br>額増加<br>率(%) | ④<br>消費者<br>物価指<br>数上昇<br>率(%) | ⑤<br>都市固<br>定資産<br>投資増<br>加 率<br>(%) | ⑥<br>貿易収<br>支<br>(億ドル) | ⑦<br>輸 出<br>増加率<br>(%) | ⑧<br>輸 入<br>増加率<br>(%) | ⑨<br>外国直<br>接投資<br>件数の<br>増加率<br>(%) | ⑩<br>外国直<br>接投資<br>金額増<br>加率<br>(%) | ⑪<br>貨幣供<br>給量増<br>加 率<br>M2(%) | ⑫<br>人民元<br>貸出残<br>高増加<br>率(%) |
|--------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 2005 年 | 10.4                          |                                     | 12.9                           | 1.8                            | 27.2                                 | 1020                   | 28.4                   | 17.6                   | 0.8                                  | ▲0.5                                | 17.6                            | 9.3                            |
| 2006 年 | 11.6                          |                                     | 13.7                           | 1.5                            | 24.3                                 | 1775                   | 27.2                   | 19.9                   | ▲5.7                                 | 4.5                                 | 15.7                            | 15.7                           |
| 2007 年 | 13.0                          | 18.5                                | 16.8                           | 4.8                            | 25.8                                 | 2618                   | 25.7                   | 20.8                   | ▲8.7                                 | 18.7                                | 16.7                            | 16.1                           |
| 2008 年 | 9.0                           | 12.9                                | 21.6                           | 5.9                            | 26.1                                 | 2955                   | 17.2                   | 18.5                   | ▲27.4                                | 23.6                                | 17.8                            | 15.9                           |
| 2009 年 | 9.1                           | 11.0                                | 15.5                           | 1.9                            | 31.0                                 | 1961                   | ▲15.9                  | ▲11.3                  | ▲14.9                                | ▲16.9                               | 27.6                            | 31.7                           |
| 2010 年 | 10.3                          | 15.7                                | 18.4                           | 3.3                            | 24.5                                 | 1831                   | 31.3                   | 38.7                   | 16.9                                 | 17.4                                | 19.7                            | 19.8                           |
| 12 月   | 9.8                           | 13.5                                | 19.1                           | 4.6                            | 20.4                                 | 131                    | 17.9                   | 25.6                   | 9.2                                  | -13.3                               | 19.7                            | 19.9                           |
| 2011 年 | 9.2                           |                                     |                                |                                |                                      |                        |                        |                        |                                      |                                     |                                 |                                |
| 1 月    |                               |                                     | 19.9                           | 4.9                            | 23.7                                 | 65                     | 37.7                   | 51.4                   | 16.6                                 | 11.4                                | 17.3                            | 16.9                           |
| 2 月    |                               | 14.9                                | 11.6                           | 4.9                            | —                                    | -73                    | 2.3                    | 19.7                   | -10.9                                | 32.2                                | 15.7                            | 16.2                           |
| 3 月    | 9.7                           | 14.8                                | 17.4                           | 5.4                            | 31.2                                 | 1                      | 35.8                   | 27.4                   | 10.5                                 | 32.9                                | 16.6                            | 16.2                           |
| 4 月    |                               | 13.4                                | 17.1                           | 5.3                            | 37.2                                 | 114                    | 29.8                   | 22.0                   | 8.2                                  | 15.2                                | 15.4                            | 15.8                           |
| 5 月    |                               | 13.3                                | 16.9                           | 5.5                            | 33.6                                 | 130                    | 19.3                   | 28.4                   | 12.1                                 | 13.4                                | 15.1                            | 15.4                           |
| 6 月    | 9.5                           | 15.1                                | 17.7                           | 6.4                            | 11.8                                 | 223                    | 17.9                   | 19.0                   | 6.6                                  | 2.8                                 | 15.9                            | 15.2                           |
| 7 月    |                               | 14.0                                | 17.2                           | 6.5                            | 27.7                                 | 315                    | 20.3                   | 23.0                   | 2.7                                  | 19.8                                | 14.7                            | 15.0                           |
| 8 月    |                               | 13.5                                | 17.0                           | 6.2                            | 33.4                                 | 178                    | 24.4                   | 30.4                   | 6.4                                  | 11.1                                | 13.6                            | 14.8                           |
| 9 月    | 9.1                           | 13.8                                | 17.7                           | 6.1                            | 27.3                                 | 145                    | 17.0                   | 21.1                   | -3.5                                 | 7.9                                 | 13.1                            | 14.3                           |
| 10 月   |                               | 13.2                                | 17.2                           | 5.5                            | 34.1                                 | 170                    | 15.8                   | 29.1                   | -0.6                                 | 8.7                                 | 16.7                            | 14.1                           |
| 11 月   |                               | 12.4                                | 17.3                           | 4.2                            | 21.4                                 | 145                    | 13.8                   | 22.6                   | -12.9                                | -9.8                                | 16.2                            | 14.0                           |
| 12 月   | 8.9                           | 12.8                                | 18.1                           | 4.1                            | 5.7                                  | 165                    | 13.3                   | 12.1                   | -15.4                                | -12.7                               | 17.3                            | 14.3                           |
| 2012 年 |                               |                                     |                                |                                |                                      |                        |                        |                        |                                      |                                     |                                 |                                |
| 1 月    |                               |                                     |                                | 4.5                            | 25.3                                 | 273                    | -0.5                   | -15.0                  | 4.6                                  | 10.8                                | 16.6                            | 14.8                           |
| 2 月    |                               | 21.3                                |                                | 3.2                            | —                                    | -315                   | 18.3                   | 40.3                   | 38.7                                 | -0.9                                | 17.8                            | 15.0                           |
| 3 月    | 8.1                           | 11.9                                | 15.2                           | 3.6                            | 21.1                                 | 53                     | 8.8                    | 5.4                    | -6.5                                 | -6.1                                | 18.1                            | 15.7                           |
| 4 月    |                               | 9.3                                 | 14.1                           | 3.4                            | 19.2                                 | 184                    | 4.9                    | 0.4                    | -26.1                                | -0.7                                | 17.5                            | 15.4                           |
| 5 月    |                               | 9.6                                 | 13.8                           | 3.0                            | 21.0                                 | 187                    | 15.3                   | 12.7                   | -6.1                                 | 0.0                                 | 17.9                            | 15.7                           |
| 6 月    | 7.6                           | 9.5                                 | 13.7                           | 2.2                            | 21.8                                 | 317                    | 11.3                   | 6.3                    | -16.3                                | -6.9                                | 18.5                            | 16.0                           |
| 7 月    |                               | 9.2                                 | 13.1                           | 1.8                            | 20.6                                 | 251                    | 1.0                    | 5.7                    | -7.8                                 | -8.6                                | 18.9                            | 16.0                           |
| 8 月    |                               | 8.9                                 | 13.2                           | 2.0                            | 19.4                                 | 267                    | 2.7                    | -2.7                   | -12.7                                | -1.4                                | 18.4                            | 16.1                           |
| 9 月    | 7.4                           | 9.2                                 | 14.2                           | 1.9                            | 23.1                                 | 277                    | 9.8                    | 2.3                    | -6.4                                 | -6.8                                | 19.8                            | 16.2                           |
| 10 月   |                               | 9.6                                 | 14.5                           | 1.7                            | 22.4                                 | 320                    | 11.5                   | 2.2                    | 1.8                                  | -0.2                                | 14.6                            | 15.9                           |
| 11 月   |                               | 10.1                                | 14.9                           | 2.0                            | 20.0                                 | 196                    | 2.8                    | -0.1                   | -8.7                                 | -5.4                                | 14.5                            | 15.7                           |
| 12 月   | 7.9                           | 10.3                                | 15.2                           | 2.5                            | 18.8                                 | 316                    | 14.0                   | 6.0                    | -7.8                                 | -4.5                                | 14.4                            | 15.0                           |
| 2013 年 |                               |                                     |                                |                                |                                      |                        |                        |                        |                                      |                                     |                                 |                                |
| 1 月    |                               |                                     |                                | 2.0                            |                                      | 291                    | 25.0                   | 29.0                   |                                      |                                     | 15.9                            | 15.4                           |



---

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。  
2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。  
3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。  
出所：①—⑤は国家統計局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。